

産業建設

缶詰製作所 株良品計画と取引本格化



産業建設常任委員長

坂本 あや

● 一般会計補正予算

■ 農業公社貸付金

300万円減額

平成26年4月から始めた経営が黒字となったので、貸付を受ける必要がなくなったという事です。研修生は2人、平成27年9月で研修期間が終わるので、年明けから新たな募集をする予定になっています。

■ 震災対策 255万円

老朽住宅除去4件分が追加され、9件の除去を行うことになりました。

■ 修繕費

78万円

道の駅なぶら土佐佐賀の通気口の風雨対策や、特産品販売所（ビオスおおがたの前）の修繕費等です。

なぶら土佐佐賀の経営状態は、平成26年10月末には、7万人の集客があり、目標を超えて、順調な経営がされているとのこと。

■ 都市環境整備費の組替

2千万円

佐賀と蜷川の消防車購入が認められなかったため、田野浦地区の消防屯所と集会所の用地購入に組み替えました。

■ 改良住宅修繕費

108万円

大方地区50万円は、8月10日豪雨による7戸分の外壁の

修繕費。佐賀地区58万円は、

雨漏り、地盤沈下等への対応分ですが、その住宅の7、8軒が空いたままです。

借主が町外に家を建て移ってしまう震災前過疎も見受けられます。町外には有利な補助金があるが本町にはないことなどが、空きが増える要因になっているのではないかと指摘がありました。

■ 缶詰製作所に貸付金

1千万円

株良品計画との取引で10万円の追加注文があり、資金が一次的にショートする恐れがあるので貸し付けます。

株良品計画との取引ができたことに高い評価がありましたが、品質には十分留意をしてほしいとの意見がありました。

■ 佐賀白石団地に照明

15万円

建設中の家屋が12月11日に完成予定となり、安全対策としてLED照明5基を付けるものです。

■ その他

景気対策での多くの事業が出ており、避難タワーと舗装以外は町内業者さんで受けてもらっている。今後、耐震の住宅リフォーム等の事業が多く出ることから建築関係者への説明も行い、協力を求めたいとの説明がありました。

陳情書の審査

J A高知はた農業協同組合から「J Aグループの自己改革の実現に向けた要請」がありました。委員会は提出者を招致し趣旨の説明を求め、全会一致で採択しました。

現地視察を行いました

★指定管理に出している佐賀菌茸工場の空調が、老朽化して使用に不安があるため、担当職員に同行を求め、管理者から説明をうけました。

★佐賀の水源地視察では、タンク内を目視により、状況の確認を行いました。不純物等もなくきれいに管理されており、水源からくみ上げられる水の水质は上質であるとの説明を受けました。



菌茸施設で説明を受ける



水源地にて現状を調査